

【イラク市場開拓の着眼点】

イラク人の親日感情と日本への期待が高いうちに、
現地への進出を急ぐ必要あり

イラク市場への近道

1. 円借款案件は、引き続き重要なイラクビジネス推進への足掛かり
2. EPC、IPP、BOTビジネスは、積極的に第三国企業との連携の可能性も探る
3. 消費財分野は、戦乱による消費空白期間を埋めようとする市民の高い購買意欲と日本製品へのロイヤリティ(70年代の遺産)が追い風に
4. イラク市場でのプレゼンス向上を目的に、現地事務所開設を先行させることも有効